



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
 お問合せ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 夏祭りのお知らせ
- ゴミが減ったわけは
- 災害図上訓練の様様
- 水戸街道物語 第9回

楽しさいっぱいの2日間

今年の夏祭りは、8月23日(金)
 8月24日(土)



恒例の納涼夏祭り大会を8月23日(金)、8月24日(土)の2日間、豊小学校校庭で開催します。

やぐらを囲んでの盆踊りのほか、豊小児童の金管楽器演奏、子ども会の柏元気太鼓、和太鼓御響などで祭の雰囲気盛り上げます。今年は豊小児童によるダンスも予定。むろんお楽しみ抽選会も。2日目には御輿のお練りもあります。

東町会の夏祭りも今年で20回目。災害時には緊急避難場所となる豊小学校への順路を確かめる防災訓練のひとつでもあります。会場には人気の模擬店もズラリとそろいますが、すべて地域の人の手作り。楽しさいっぱいのイベントに、たくさんの方の来場をお待ちしています。

● 御輿をかついでみよう！

御輿のお練りは、例年と同じように24日(土)に行います。午後2時に高橋鳶さんの駐車場に集



合、3時に出発し、東武線の手前を右折、豊小学校までの約1キロのコースを途中2か所の給水休憩を入れ、1時間かけて練り歩きます。

● 詳しくは8月発行の「特別号」で

夏祭りのプログラムやスケジュール、会場案内などの詳細は、「東風」の夏祭り特別号として別途発行します。8月上旬、全戸に配布しますので、ぜひご覧ください。

祭を支えるのは地域の人
 - 手作りの模擬店が人気です -

数千人規模の来場者があり、多くの模擬店が欠かせません。小学校の校庭が会場ですから、業者は一切かかわらず、店の設営から



運営まですべて町会や関連団体、地域の多数の方のお手伝いでまかなう「手づくりの模擬店」がこの祭りの最大の特徴。

焼きそばや、やきとり、おでん、わたあめ、フランクフルト、ポップコーン、ビールやジュース、お茶といった飲食物から、金魚すくい、スーパーボールすくい、ヨーヨーなど子供には欠かせない遊びまで。これらを町会の1区、2区、3区、4区、成年部、子ども会、老人会、消防団、おやじの会などが担当。テントを張って店を作り、材料の仕込み、調理、パック詰め、販売のすべてを行っています。事前の準備や祭りの2日間、片付けを通じて300人前後の人がかかわります。さらに豊小や中原中の児童生徒のボランティアも毎年増えています。祭りを支える大きな力になると同時に、お手伝いを通じて地域の人々のつながりも確実に広がっています。

街がきれいになったのは…

ゴミゼロ運動を考える

今年のゴミゼロ運動は5月26日に行われ、わが町会でも全域でゴミを拾いました。この運動は愛知県豊橋市が毎年5月30日(ゴミゼロ)に山をきれいにする運動を始めたのが発端となり、町の美化運動として全国に広がりました。柏市では5月の最終日曜日をゴミゼロ運動の日とし、自宅からゴミ集積所までゴミを拾って歩くという形で実施しています。

「ゴミが少なくなっても必要？」

最近拾うゴミが少なくなっています。参加者から「街がきれいになっても、この運動は必要なの？」といった声も聞かれます。

「街とゴミ」を振り返ってみましょう。10年ほど前まで、町内は不法投棄されるゴミが各所に散乱していました。JR線と東武線にはさまれているわが町会には、踏切や陸橋を越えてゴミを捨てに来る者もいて、陸橋下の空きスペースなどのゴミの山に悩まされました。

平成21年の運動から成年部が中心になり、不法に捨てられたゴミをリヤカーで回収しました。写真上は平成22年、写真中・下は平成24年の運動で回収されたゴミ。タンスや冷蔵庫など本来有料で出すべき粗大ゴミまで捨てられていました。

平成24年をピークに不法投棄は減少し、さいきんは不法投棄の定位置だった陸橋下などにもゴミは捨てられなくなっています。毎年の回収の結果といえるでしょう。

“きれいな街は、当たり前ではない”

この運動について町会の佐野会長は「みんなの手で街をきれいにしたことを忘れてはならないと思います。町会ではゴミを捨てたあと、集積所の低見台公園で親睦のためのバーベキュー大会も行っています。“きれいな街で

あることが当たり前ではない”ということを伝えるイベントとして、ゴミゼロ運動を続けていきたい」と話しています。



話し合っ、確かめて…

地域の防災度を知る「図上訓練」



地域での災害に備え、近所の人といっしょに対策を考える「災害図上訓練」が、6月15日、3区(午前)、2区(午後)の約50人が参加して開かれました。

この訓練の特色は、地域の大きな地図を使うこと。グループに分かれ、地図を広げて危険な場所、安全な場所、避難できる場所、鉄道や道路、せまい道、医療機関や防災倉庫、さらには支援が必要と思われる高齢者宅などを、みんなで話し合い、確かめながら地図上に印をつけていきます。

自分たちでマップを作り上げることで、災害に対する立地環境や、およその地域の防災レベルを知ることができます。この地図を使い、救助・救出や避難をテーマにした想定課題で対策を話し合う訓練もできますが、この日は「非常持ち出しとして何を入れるか」をグループで書き出し、話し合いをしました。食料、水をはじめ、ほぼ同じようなリストに。「薬を常用する人は薬手帳を忘れずに」、「日常の買い物を少し多めに買い置きしておく“日常備蓄”を心がける」などは実践したいですね。

訓練進行役の町会自主防災組織副本部長、遠山幹夫さん(町会副会長)が、簡単にできる簡易トイレの組み立てを実演。簡易トイレもぜひ備蓄しておきたいもののひとつです。





近隣センターの本棚を修理

「雑大エーひよっこだいくー」が協力



富里近隣センターでは今年度の事業目標のひとつに、「子供の図書充実」を掲げています。ところが子供用図書を収めるための書架が本の重みや老朽化などから不具合となり、移動のさいキャスターが動かないのが現状。

この書架の修復に日曜大工クラブ「雑大エーひよっこだいくー」（豊町ふるさと会館を拠点とする地域のサークル）が協力することになりました。

大きな書架（高さ約 230 センチ、幅約 185 センチ、奥行約 50 センチ）を 4 つに分割して補強し、4 つの独立した書架に再生します。クラブの講師をつとめるベテラン大工、武藤将彦さんの指導で修復にあたります。完成は令和元年 7 月の予定。

夏休みはラジオ体操をしよう

豊小学校校庭で毎朝

7 月 19 日は終業式。夏休みが始まります。豊小学校児童の父親の集まり「おやじの会」では、今年も夏休みの期間中、豊小学校校庭でラジオ体操を行います。



毎朝 6 時 30 分から、NHK のラジオ体操の放送に合わせ、第 1、第 2 の体操をします。指導は同会のお父さんたち。親子そろってお出かけください。シニアの方も歓迎。涼しい朝のひととき、体をほぐしましょう。

「学校に泊まろう」などを企画。おやじの会

「おやじの会」は豊小児童の父親が参加。PTA を支える存在です。6 年前に誕生し、運動会の警備や片付け、コンサートなどの交通整理、プールの清掃など学校行事のお手伝いをしています。東日本大震災のあと、防災体験のひとつとして夏休みに「学校に泊まろう」を企画、

実施しています。ふつうの寝具は使わずに、登山用の寝袋などでひと晩を過ごします。今夏も実施します。会員は約 50 人。テレビで人気の「逃走中」ゲーム、流しそうめんを味わうなどに 1 回くらいのイベントで児童とふれあっています。町会の夏祭りでは例年「金魚すくい」などの模擬店も出しています。

半世紀以上の歴史「明寿会」

児童の見守りやゴミ拾い活動

豊町東町会のシニアクラブ「明寿会」は、昭和 38 年 10 月に発足した、柏市内でも最も長い歴史を持つ老人クラブです。平成 25 年には 50 周年を祝っています。田中達雄会長は 8 代目。



会の活動としては健康のためのグラウンドゴルフや親睦を深めるカラオケほか多彩ですが、豊小児童の下校時の見守りや町のゴミ拾いなど地域社会とも積極的にかかわっています。

下校時の見守りは最も交通量の多い旧水戸街道の陸橋下交差点で、月～金曜日の毎日行っています。6 月には長年の見守り活動に対して豊小学校の大木恵子校長から表彰を受けました。

「ロコモ予防体操教室」

7 月からふるさと会館で

これまで柏市の教育福祉会館で行われてきた包括支援センター主催の「ロコモ予防体操教室」。同会館が耐震工事に入り令和 2 年度まで休館となるため、教室の会場は豊町ふるさと会館に変わりました。7 月～11 月の毎月第 1・3 金曜日、13:00～15:00、ふるさと会館 2 階で行われます。



隣の町の夏まつり

南柏まつり	7/20・21	(南柏駅西口)
柏まつり	7/27・28	(柏駅周辺)
緑ヶ丘町会	8/3・4	(一本松公園)
ひばりが丘町会	8/24・25	(日立台公園)
豊町西町会	8/25	(豊町第 3 公園)
富里町会	8/30・31	(富里近隣センター)



●面影残す古い商家



松戸宿の本陣（現松戸郵便局付近）から松戸駅前の通りと交差するあたりが宿場通り。本陣、2つの脇本陣、29軒の旅籠などが軒を連ねるにぎやかな通りでした。ビルやマンションが並ぶ沿道で、格子戸などがついた古い商家がポツンポツンと残り、街道の面影を感じさせてくれます。駅近くの呉服の葛西屋は3階建てのビルに改築されていますが、創業は天正年間（1830年代）だそうです。

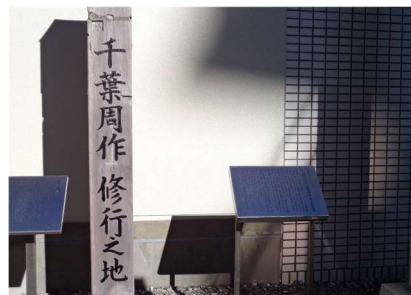
●宿の鎮守、松戸神社

宿に入り街道を横切って川幅のせまい坂川を渡ると広大山松龍寺。慶長18年（1613）の建立といわれ、小金原へ鹿狩りに向かう8代将軍吉宗や11代将軍家齊らが休憩に立ち寄っています。山門は江戸後期の建築。



坂川沿いに少し歩けば松戸神社。元は御嶽社（みたけしゃ）といい、明治15年に改称されています。松戸の鎮守様で、水戸家の尊崇を受け、街道を行きかう人が参拝。いまも地域の参拝客でにぎわっています。

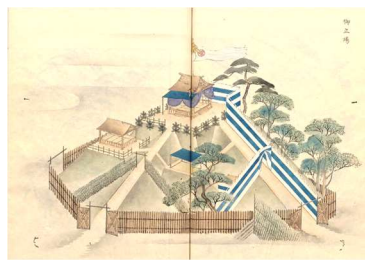
●千葉周作修行の地



坂川にかかる春雨橋を渡ると、左側に宝光院、善照寺と2つの寺が並んでいます。宝光院は「松戸四国八十八ヶ所弘法大師霊場」とあり、一番から八十八番までの石仏が並んでいます。参道の入口に「千葉周作修行之地」との木標が建っています。この近くにあった浅利又七郎の道場で、若いころの周作は剣のけいこに励んだといひます。「修行の地」の木標は解体された旧本陣の大黒柱を使っていると説明書きがありました。

●鹿狩りは中野牧で

小金原での将軍の鹿狩りは、8代将軍吉宗（2回）ら3人の将軍が4回行っています。



狩り場は旧水戸街道から東方にある中野牧（現在松戸市、柏市、鎌ヶ谷市が接している地域）。吉宗が享保10年（1725）に行った狩りでは、鹿826、猪5、狼1の獲物があったと記録にあります。

現在は住宅が密集する市街地。将軍の狩りの時の居場所であった「御立場」（おたつば）という塚が松戸市松飛台に昭和10年代まで残っていました。近くの五香公園に「御立場跡」の石碑があります。

●地名となった馬橋



ふたたび旧道に戻り、松戸から北松戸を経て馬橋へ。国道6号を中津立体入口という交差点で左にそれると「馬橋」という小さい橋が。旧水戸街道が通っていたこの橋は大雨のたびに流失。萬満寺に縁のある良観上人が馬の鞍の形をした橋をかけさせたところ、以来流されることはなくなったと伝えられます。馬橋という地名の由来です。

少し先、右手の東京ベイ信用金庫馬橋支店の前に「栢日庵立砂の居宅跡」の木標。立砂（りゅうしゃ）は葛飾派の俳人で、小林一茶の後援者でした。一茶はたびたび立砂宅を訪れており、「呼合ふて長閑に暮す野馬かな」など小金原の駒の句をたくさん残しています。

●またくぐり、萬満寺

商店街となっている旧道をしばらく歩けば臨濟宗萬満寺。鎌倉時代の建長8年（1256）、小金の領主だった千葉介頼胤が鎌倉極楽寺の良観房忍性を招いて堂宇を修め真言宗の大日寺を開いたのが始まりと伝えられる古い寺。例祭日の3月28日と10月28日に「仁王様のまたくぐり」が行われ、この日にお参りすると中気や諸病の厄除けになると信じられてきました。その仁王像は国の重要文化財。阿像（高さ2.5m）、吽像（高さ2.4m）とも寄木造り。鎌倉時代の運慶の作とも伝えられていますが、確かなことはわからないようです。（つづく）
※街道探検の詳細は、町会のホームページをご覧ください。

